



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 ウシオ電機株式会社

コード番号 6925 URL <http://www.ushio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浜島 健爾

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 経理担当部長 (氏名) 瀧澤 秀明

TEL 03-5657-1000

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	82,520	△6.9	3,139	△52.0	3,082	△59.3	1,851	△66.1
28年3月期第2四半期	88,616	19.2	6,540	63.1	7,572	47.1	5,466	21.7

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 △7,524百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 2,675百万円 (△77.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	14.46	—
28年3月期第2四半期	42.14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	281,536	199,130	69.9
28年3月期	294,525	211,296	70.9

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 196,877百万円 28年3月期 208,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	26.00	26.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	△5.1	9,000	△31.5	10,000	△31.7	7,000	△37.0	54.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	139,628,721 株	28年3月期	139,628,721 株
29年3月期2Q	11,866,336 株	28年3月期	10,954,280 株
29年3月期2Q	128,043,148 株	28年3月期2Q	129,725,112 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページをご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算説明資料は平成28年10月31日(月)に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業について概観いたしますと、光源事業においては円高ドル安の進行による為替影響により減収減益となりました。装置事業においても、為替影響に加え、映像装置事業において市場環境の変化による競争激化により減収減益となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は825億2千万円（前年同期比6.9%減）、営業利益は31億3千9百万円（前年同期比52.0%減）となりました。また、経常利益は営業利益の減益に加え、為替変動による為替差損の計上などにより30億8千2百万円（前年同期比59.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億5千1百万円（前年同期比66.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(光源事業)

当第2四半期連結累計期間は、主として前年同期比で円高ドル安となった為替影響を受け減収減益となりました。

放電ランプのうち、露光用UVランプについては、引き続きユーザーの稼働率は高水準を維持しているものの、為替影響により減収となりました。シネマプロジェクター用クセノンランプは、新興国を中心にシネマスクリーンの新設が続いており需要は増加したものの、価格競争の激化及び為替影響により減収となりました。ハロゲンランプは、OA用途において新興国の景気低迷による需要減や為替影響により減収となりました。

その結果、売上高は368億4千3百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は40億5千万円（前年同期比32.2%減）を計上いたしました。

(装置事業)

当第2四半期連結累計期間は、主として前年同期比で円高ドル安となった為替影響に加え、映像装置事業において中国での競争激化の影響を受け減収減益となりました。

映像装置のうちシネマ分野では、デジタルシネマプロジェクターの出荷が新興国を中心に継続しており販売台数は増加したものの、新興国で需要が拡大している中小型タイプにおいて競争が激化したことによる販売単価の下落がありました。一般映像用装置については、前期に新規投入したアミューズメントパークやイベント向けプロジェクターの販売は堅調に推移したものの、映像装置市場においてフラットパネルディスプレイなどの浸透が拡大し、常設タイプの中小型プロジェクターを中心に販売が低迷しました。

光学装置においては、中国を中心とした中小型液晶パネル関連及び有機ELディスプレイ関連の設備投資が続いており、有機ELディスプレイ向けエキシマ洗浄装置やロールtoロール投影露光装置及び液晶パネル製造用装置の販売が増加しました。

その結果、売上高は453億6千3百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント損失は11億2千3百万円を計上いたしました。

(その他事業)

その他事業におきましては、射出成形プロセスを高精度監視する金型監視装置の販売が拡大しましたが、前年同期に販売実績がある食品包装成形機の減少を上回るまでには至らず、低調に推移いたしました。

その結果、売上高は13億6百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント損失は2百万円を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,815億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ129億8千8百万円減少いたしました。主な減少要因は、商量減少による「受取手形及び売掛金」及びたな卸資産の減少、自己株式購入や配当金支払いなどによる「現金及び預金」の減少であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、824億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2千3百万円減少いたしました。主な減少要因は、商量減少による「支払手形及び買掛金」の減少であります。また、主な増加要因は、運転資金などの需要増加に伴う「長期借入金」の増加であります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、1,991億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ121億6千5百万円減少いたしました。主な減少要因は、円高による「為替換算調整勘定」の減少、自己株式の取得による「自己株式」の増加及び配当金の支払による「利益剰余金」の減少であります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ47億8千9百万円減少し430億2千3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、84億5百万円の収入（前年同期は58億9千8百万円の収入）となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上31億6千8百万円、減価償却費の発生32億6千6百万円、売上債権の減少14億1千2百万円、たな卸資産の減少8億4千3百万円による収入があった一方で、仕入債務の減少16億3千1百万円、及び法人税等の支払5億1千8百万円の支出によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、96億9千4百万円の支出（前年同期は8億6百万円の支出）となりました。

この主な要因は、定期預金の払戻79億3千6百万円、有価証券の売却及び償還25億4千7百万円、及び投資有価証券の売却及び償還17億2千6百万円による収入と、定期預金の預入103億3千5百万円、有価証券の取得17億8千6百万円、有形固定資産の取得46億2千8百万円、及び投資有価証券の取得44億4千2百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、1億7千9百万円の収入（前年同期は53億8千8百万円の支出）となりました。

この主な要因は、長期借入れによる57億円の収入と、自己株式の取得11億9千9百万円、及び配当金の支払33億4千6百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年7月29日に公表いたしました業績予想から変更はございません。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,595	52,395
受取手形及び売掛金	38,424	35,088
有価証券	7,893	7,873
商品及び製品	30,705	27,660
仕掛品	10,215	11,015
原材料及び貯蔵品	15,716	13,113
繰延税金資産	5,070	4,364
その他	8,677	8,289
貸倒引当金	△1,125	△938
流動資産合計	170,173	158,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	40,115	41,439
減価償却累計額	△22,608	△22,632
建物及び構築物(純額)	17,507	18,806
機械装置及び運搬具	23,541	22,754
減価償却累計額	△18,845	△18,402
機械装置及び運搬具(純額)	4,696	4,351
土地	10,119	9,848
建設仮勘定	3,118	2,645
その他	26,224	25,793
減価償却累計額	△19,356	△18,941
その他(純額)	6,868	6,852
有形固定資産合計	42,310	42,504
無形固定資産		
のれん	4,995	4,208
その他	5,790	4,948
無形固定資産合計	10,786	9,156
投資その他の資産		
投資有価証券	65,745	65,428
長期貸付金	9	9
繰延税金資産	1,116	1,325
退職給付に係る資産	23	21
その他	4,482	4,341
貸倒引当金	△120	△115
投資その他の資産合計	71,256	71,011
固定資産合計	124,352	122,673
資産合計	294,525	281,536

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,797	15,540
短期借入金	5,049	4,533
1年内返済予定の長期借入金	3,066	4,475
未払法人税等	382	550
繰延税金負債	183	43
賞与引当金	2,472	2,213
製品保証引当金	1,828	2,052
受注損失引当金	2	63
環境対策引当金	236	—
その他	18,443	18,636
流動負債合計	49,463	48,108
固定負債		
長期借入金	6,397	9,331
繰延税金負債	4,325	5,178
役員退職慰労引当金	756	741
役員株式給付引当金	102	93
退職給付に係る負債	14,946	12,367
資産除去債務	203	205
その他	7,032	6,380
固定負債合計	33,765	34,296
負債合計	83,228	82,405
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,556	19,556
資本剰余金	27,672	27,670
利益剰余金	151,856	150,354
自己株式	△16,027	△17,214
株主資本合計	183,057	180,367
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,072	30,757
繰延ヘッジ損益	—	△48
為替換算調整勘定	4,375	△6,268
退職給付に係る調整累計額	△9,800	△7,929
その他の包括利益累計額合計	25,647	16,510
非支配株主持分	2,590	2,253
純資産合計	211,296	199,130
負債純資産合計	294,525	281,536

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	88,616	82,520
売上原価	54,366	53,211
売上総利益	34,249	29,309
販売費及び一般管理費	27,709	26,169
営業利益	6,540	3,139
営業外収益		
受取利息	372	309
受取配当金	589	621
為替差益	318	—
その他	213	365
営業外収益合計	1,494	1,296
営業外費用		
支払利息	125	136
為替差損	—	1,030
持分法による投資損失	9	4
売買目的有価証券運用損	202	160
その他	125	21
営業外費用合計	462	1,353
経常利益	7,572	3,082
特別利益		
固定資産売却益	1,077	10
投資有価証券売却益	—	791
関係会社清算益	37	—
負ののれん発生益	579	—
特別利益合計	1,694	802
特別損失		
固定資産除却損	57	43
固定資産売却損	0	17
特別退職金	—	10
移転費用	40	114
事業構造改善費用	—	529
特別損失合計	98	715
税金等調整前四半期純利益	9,168	3,168
法人税、住民税及び事業税	1,715	823
法人税等調整額	1,916	558
法人税等合計	3,631	1,381
四半期純利益	5,536	1,786
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	△65
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,466	1,851

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	5,536	1,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△948	△315
繰延ヘッジ損益	△0	△48
為替換算調整勘定	△2,226	△10,818
退職給付に係る調整額	315	1,870
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	△2,860	△9,311
四半期包括利益	2,675	△7,524
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,739	△7,285
非支配株主に係る四半期包括利益	△63	△238

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,168	3,168
減価償却費	3,147	3,266
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	104	126
のれん償却額	460	646
受取利息及び受取配当金	△962	△930
支払利息	125	136
売買目的有価証券運用損益(△は益)	202	160
持分法による投資損益(△は益)	9	4
固定資産売却損益(△は益)	△1,077	6
固定資産除却損	57	43
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△791
売上債権の増減額(△は増加)	2,260	1,412
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,882	843
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,040	△1,631
その他	△971	1,643
小計	7,602	8,105
利息及び配当金の受取額	1,015	955
利息の支払額	△132	△136
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,586	△518
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,898	8,405
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,354	△10,335
定期預金の払戻による収入	8,764	7,936
短期貸付けによる支出	△112	△204
短期貸付金の回収による収入	92	181
有価証券の取得による支出	△2,194	△1,786
有価証券の売却及び償還による収入	2,858	2,547
有形固定資産の取得による支出	△2,982	△4,628
有形固定資産の売却による収入	1,388	61
無形固定資産の取得による支出	△130	△255
投資有価証券の取得による支出	△1,197	△4,442
投資有価証券の売却及び償還による収入	76	1,726
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△375	△490
長期貸付けによる支出	△5	△5
長期貸付金の回収による収入	218	0
その他	149	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△806	△9,694

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,706	△124
長期借入れによる収入	—	5,700
長期借入金の返済による支出	△1,007	△835
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△415	—
自己株式の取得による支出	△2,511	△1,199
配当金の支払額	△3,132	△3,346
非支配株主への配当金の支払額	△28	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,388	179
現金及び現金同等物に係る換算差額	△679	△3,680
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△975	△4,789
現金及び現金同等物の期首残高	56,989	47,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,013	43,023

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,175	47,915	87,090	1,525	88,616	—	88,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	543	27	570	11	581	△581	—
計	39,719	47,942	87,661	1,536	89,197	△581	88,616
セグメント利益	5,978	508	6,486	27	6,514	25	6,540

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	光源事業	装置事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,925	45,292	81,217	1,303	82,520	—	82,520
セグメント間の内部売上高 又は振替高	917	71	989	3	992	△992	—
計	36,843	45,363	82,206	1,306	83,513	△992	82,520
セグメント利益又は損失 (△)	4,050	△1,123	2,927	△2	2,924	214	3,139

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他収益を獲得する事業活動であり、産業機械及び資金管理活動等が含まれます。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。